

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見を しっかりと語れる子ども

取組目標 地域教育協議会と学校・保護者・各種団体との連携を一層深め、地域と学校園が連携・協働した子どもが参画する取組の開発と充実。

【今年度の取組紹介】

「アルミ缶回収活動」に取り組んで今年で23年目になります。当時の中学校生徒会の呼びかけで始まり、地域福祉協議会、ボランティア愛歩21、地域住民、学校が一つになり継続して実施しています。今年は、地域の特別養護老人ホームや月ヶ瀬地区社会福祉協議会に車椅子2台と福祉機器を寄贈させていただきました。これで今までに寄贈した福祉機器は126台になりました。また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会などを通してスポーツや文化に触れたり、福祉センターの「いきいき講座」への出演や友愛訪問、地域清掃などで高齢者の方や地域の方々とも交流したりすることができました。

さらに、草刈りなどの環境整備作業、こ小中梅採りなど、こども園・小学校・中学校と連携して多くの取組を実施しました。



アルミ缶回収活動



月ヶ瀬体育祭



こ小中梅採り

【今年度のまとめ】

地域で取り組んだアルミ缶回収活動で、今年も社会福祉協議会から感謝状をいただきました。今後も継続してこの取組を続けていくための励みになります。

地域ぐるみの体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会への参加により、スポーツや地域の文化に触れ、地域がつながり、「地域の子どもの地域で育てる」体制がさらに強固になりました。

さらに、今年度も活動の様子をホームページを通して発信し、さらにホームページでは閲覧しにくい環境の方のために紙媒体で年4回発行しました。この取組を次年度も継続していきたいです。

【来年度に向けて】

昨年も課題に挙げたように、若い支援者を広げ、若者が定住できる環境、仕事、活性化の取組を考えていく必要があります。協議会としては、地元の若者との交流を大切にして、話し合いを進め、地域協議会の活動に多くの若者が参加していける環境づくりをしていきたいです。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見を しっかりと語れる子ども

取組目標

ふるさとの支援を受けながら、郷土愛を育て、ふるさとを守り、
未来につないでいく生徒の育成

【今年度の取組紹介】

ふるさとを知る取組として、毎年「ふるさと Walk」を実施しています、今年は尾山地区と石打地区をボランティアの方に案内していただき、それぞれの地区を巡りました。また、職場体験学習、梅干しづくり、地域花いっぱい運動、闘茶会、紅花染体験、奈良晒体験、地域清掃、梅林清掃への参加など多くの活動を通じてふるさと学習に取り組みました。

三年前立ち上げた「月ヶ瀬観光戦略課」の活動として、今年度は近鉄奈良駅前で月ヶ瀬のアピール活動をしました。また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、梅溪マラソン大会にも参加しました。



ふるさと WALK で石打
地区を巡る



紅花染の実習



月ヶ瀬観光戦略課

【今年度のまとめ】

ふるさと学習を通して、故郷を発見、故郷の良さを発信、故郷の文化をつなげたと考えています。「アルミ缶回収活動」は、今年で23年目になりますが、この活動に対して、社会福祉協議会より感謝状をいただきました。3年生がおこなった近鉄奈良駅前で月ヶ瀬のアピール活動も、生徒だけではなく地域の様々な方が関わっていただき、効果もあったように思います。また、こども園・小学校・中学校で採った梅をつけて梅干しをバザーで販売しました。

【来年度に向けて】

少子高齢化の進むへき地ですが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。こ小中の子どもたちを地域ぐるみで育てる良い環境を今後も継続して構築していきたいと考えます。アルミ缶回収活動も継続して取り組んでいきたいと思います。また、広報活動に重点を置き若い世代の取り込みを積極的に進めていきたいです。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りをもち、自分の意見を しっかり語れる子ども

取組目標

月ヶ瀬の良さを体感するために、特産品・この地域にしかない物作りの体験学習や地域に伝わる伝承芸能継承者の方から直に教えていただくことを通して、ふるさと月ヶ瀬をもっと好きになり、将来への夢に繋げる。

【今年度の取組紹介】

地域の皆さんの協力と支援を受け、「豊かな体験 伝える思い 受け継ぐ心」を育て、「地域に支えられ 地域に生き 将来の夢に繋げる」活動を行っています。そのために、月ヶ瀬特産の「梅」と「茶」に関わる活動、伝統文化・芸能の継承活動、異世代との交流活動、この3つを中心に取り組みました。月ヶ瀬の特産「梅」に関わる活動では、保勝会で管理されている青梅を利用して「梅干し作り」、そして、日本で唯一継承されている方の指導で、熟した梅にすずをまぶし燻製にする「烏梅づくり」を体験。更にその烏梅を使って紅花染を体験しています。



次に、「茶」に関わる活動では「手揉み茶体験」

「闘茶会」を行っています。お茶のいい香りや味の違いを体感しました。お茶の紹介もしてもらい、全身でお茶を体験しました。また、「月ヶ瀬における梅、茶の歴史」についても、栽培の始まり、昭和初期からの梅や茶に関わる作業の様子、生産量の推移など、生産者の方から直接お話を聞かせていただきました。



2つ目の取組は、伝統伝承文化・芸能の継承活動です。毎年5年生は「尾山万歳」、6年生は「狂言」を各保存会の方々の指導を受け、学習発表会で発表しています。「万歳」も「狂言」も立ち居振る舞い、発声の仕方など指導を受け、今まで継承されてきた郷土の伝統を受け継いでいこうという思いで、熱心に教わり演じます。

【今年度のまとめ】

地域から学んだことを地域に発信することで自信を持ち、地域を元気にしていこうと取り組んできました。学びの広がりや深まりと地域の方との温かい交流が、コミュニケーション能力の向上につながっています。また、得難い体験と素晴らしい人・ものに触れて生まれ育った地域への誇りと愛着を育んでいます。

【来年度に向けて】

校区は地域ぐるみで子どもを育む気運に富み、学校教育に大変協力的です。こうした地域の方々に生まれ、見守られながら自尊感情を高めるために「地域の先輩から学ぶ」取組を継続していきたいと考えています。

めざす子ども像

ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見を しっかりと語れる子ども

取組目標

地域とのつながりを大切にして地域に親しみ、地域の伝統・産業に触れ、興味・関心を持つ。

【今年度の取組紹介】

・お茶摘み体験・茶工場見学

地域の産業に触れる体験をと、お茶生産の方にお世話になり茶畑で茶摘みを体験させてもらいました。お茶について話を聞かせていただきながら、茶葉の香りがする茶畑の中で一つ一つ丁寧に摘んでいました。摘んだ茶葉は工場に持って行き、煎茶に加工していく様子を見学させてもらいました。



・陶芸体験

地域で陶芸に関わる仕事をしておられる方に来ていただき、煎茶を飲む湯呑みとお菓子入れの器や茶碗作りをしました。土に触れる初めての体験でしたが、土の感触を楽しみながら、説明に耳を傾け真剣に取り組んでいました。

・お茶会

自分たちで摘んだお茶を工場で作った煎茶に製造してもらってお茶会をしました。煎茶、ほうじ茶、紅茶の3種類のお茶を自分たちで作った器で味わう経験は、五感をフルに使った貴重な体験になりました。

・染物体験

うばいを使って、紅花染を教してもらいました。きれいなピンク色に染まり、ランチョンマットにしたり、はちまきを作ったりしました。

【今年度のまとめ】

3年目の取組で、事業の計画をたてる時、去年の取組を土台に、周りの方に教えていただいて進めてきました。今年ほうばいを使い紅花染もしました。地域の方は理解があり協力的でした。子どもたちの取組の様子を地域に発信する中で、喜びの声もたくさん聞くことができました。

子どもたちは地域に出かけ、地域の方と関わり、いろいろな経験を楽しむことができたことで得るものも多くありました。自分たちが住んでいる地域に関心を持ち親しむ良い機会になりました。

【来年度に向けて】

1年の取組を通して多くの経験ができました。次年度は、今年の経験を踏まえ、さらに地域と繋がっていきけるような様々な活動を計画し、目標に向けて子どもたちが更にいきいきと活動できるよう事業を進めていきたいと思えます。